

「最上川 200 キロを歩く 小学校探検リレー」の最後に 参加者が酒田港を見学しました

7月20日(土)、山形新聞・山形放送主催の「最上川 200 キロを歩く 小学校探検リレー2019」が開催されました。最上川約200キロを全11週、11校の児童が歴史や文化、豊かな自然に親しみながらゴールを目指すもので、最終週である20日は三川町東郷小学校の4～6年生35人が担当しました。酒田港湾事務所も協力し、「みなとの役割」などを説明。そして港湾業務艇「みずほ」に乗船しての海上見学を実施しました。

児童の皆さんは、「海風が気持ちよかった」「船から海を見たらとてもきれいだった」といった感想を持たれていました。東郷小学校の皆さん、大変お疲れ様でした！



みなとの役割について学習



北港緑地展望台から酒田港を見学



港湾業務艇「みずほ」から酒田港を見学



池田酒田港湾事務所長から労いの言葉（閉会式にて）



閉会式ではゴールした皆さんに認定証が渡されました

